

19年度第2回 街中ゆったりカフェ 記録

題目：・上市の紹介パンフについて
・低平地における河川施設
・椎名道三について

様相：三話題について談義

日時：19年5月22日(水)13時半～15時

場所：音杉公民館

参加者：6人(ao, gos, toi, hir, hir, buny)

<3>椎名道三について by ao氏

椎名道三の絵本や肖像画が紹介された。時間の関係上、次回へ持ち越し。

<2>低平地における河川施設 by buny氏

2.1 ラバーダム

・川底にゴムでできた大きな風船を沈めておき、水をためるには風船を膨らまして河を大部分せき止めてダムを造る。そうしてできたダム湖から取水する。
・いち川河口にあるとか。

2.2 排水機場

・射水平野低平地では標高が低いため、基本の三幹線河口には排水機場が設けられ、河川水を汲み上げて海に配水している。

2.3 ほか

<1>上市町紹介パンフの見直し by 全員で談義

・射水市の紹介パンフには、文化や歴史が整理されて掲載。また滑川市の桜名所パンフでも内容の濃いパンフとなっている。しかし、上市紹介パンフはイベントやら食べ物やらものばかりで、内容の濃さがいまひとつ見られない。と問題提起。

ここでは、実状を再検討し、なぜそうなるのかについて論議した。ただし、どうするかについては、持ち越しとした。

・イベントチラシも大事だが、歴史や文化の視点でのパンフは確かでない。

・パンフ作成には、十分なビジョンがないとできない。行政は多忙ゆえ、おそらく手が回らないのでは。そうこうしているうちに、求められる視点も霞んでくるのでは。

・とはいえ下積みの資料は蓄積されている。桜名所もしかり、文化・歴史にもしかり。あともう少しといった感がある。

・最近、小学校では英語や道徳の教科が入ってきて、勢い文化や歴史が軽んじられる傾向が強くなってきた。

・今日の社会的様相は、直ぐにコストパフォーマンスを求め、明日に役立つより今日といった対応は地域だけでなく日本国全体の風潮とともれる。(東京でのある〇〇カフェでは、じっくり話合うよりも直ぐに金への

直結を求める)

・大学の改組拡充では文科系廃止が取りざたされる今日である。科学技術は莫大な文系的素養のもとに基礎置かれるであり、文系的素養無しで科学技術の創造はあり得ない。

・根本的な改善は、地域のみならず国レベルにおいて必要。その意味でも、地域から、特に上市から考えていきたいものである。

<4>次回

19年6月27日水曜、13時半～15時

音杉公民館和室にて

